

第149号

農業かなざわ

金沢市農業委員会憲章

みのり豊かな金沢の土に親しむわたくしたちは、このかけがえのない自然を守り魅力ある農業を築くため、誇りと責任ある行動に努めます。

- 1 農地をまもり 自然と調和する活力あるまちづくりをめざします
- 1 意欲ある担い手をそだて 農業経営の合理化をはかります
- 1 生産技術をたかめ 農地の規模拡大と友好利用をすすめます
- 1 研究と情報の輪をつなげ 暮らしと福祉の向上にとめます
- 1 時代にこたえ 健康で個性豊かな金沢の食生活をひろめます

平成3年1月28日制定

編集発行 金沢市農業委員会 電話 076-220-2223



永森 貴登さん



金沢農業大学校修了生

永森 なごもり

貴登さん いと

永森さんは、旦那様の転勤で愛知県から金沢市内に移住されました。

以前から農業に興味を持たれており、家庭菜園などをしていましたが、本格的に「農業をやりたい」という思いから、金沢市農業大学校に入校しました。

卒業後、今日まで金沢市上山町で近隣住民の方々からの協力を受けながら農業を営み続けられたことをとても感謝しているとのこと。

現在は、金時草、なす、ひまわりを栽培し、主にJAほがらか村に出荷しています。

標高が高く寒暖差のある上山町の土地は、加賀野菜で有名な金時草のきれいな赤紫色を出すのに最適だそうです。

金時草は主に酢の物や天ぷらにしますが、サラダにして生で食べてもおいしいそうです。

また、近年ではひまわりの需要が多く、売行きも好調でうれしい反面、鳥獣による被害が年々多くなっていることに悩まされているようです。

将来、今より経営規模を拡大することを目標としていますが、労働力や物価高騰による経費増、鳥獣害の増加など、多くの困難に向き合わねばならないことに苦慮されていました。

そのような中でも、生涯続く楽しい農業経営を目指して、今後もご活躍されることを期待しております。

(取材 広報編集委員 松平、東、新田)



## 東長江生産組合の取り組み

東長江生産組合長の河原さんは、大学卒業後、会社勤めの傍ら、実家の農業を手伝っており、2014年に東長江生産組合長に就任しました。現在、生産組合員は47人が在籍しており、主に稲作が盛んです。昨今の懸案事項は、高齢化により田畑の耕作が困難になっている方が多いことと、10年前から年々増加傾向にあるイノシシによる農作物への被害ですが、どちらも深刻な問題になっています。そんな中、新規就農者への取り組みを積極的に行っており、ここ3年連続して新規就農者が入ってきています。河原さんは「新規で農業をしたくても、求めている農地が無いことが多く、空いている農地を具体的に新規就農者へ周知、アピールすることが大切」と語っています。他にも、新規就農者の方に栽培方法を伝授して、家庭菜園をしたい方へ農地の斡旋をするなど農業ファンを増やす努力もしています。また、「若い世代の方が農業に関心を持ち、長年培われた技術を継承していくためにも、対話がとても重要である」ということも強調されていました。

(取材 広報編集委員 山口、五坊、山村)



新規就農者と楽しく作業



電気柵を協力して設置

## 1.5次避難所炊き出し支援に行きました!!

令和6年能登半島地震から半年余りが過ぎましたが、各避難所にはまだ多くの方が避難されています。そんな避難されている方に少しでも「自宅でのいつもの食事」を感じていただきたいと思い、令和6年7月19日に、JA金沢市が行った石川県の1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）で、昼食の炊き出しボランティアに参加させていただきました。

炊き出しのメニューは、郷土料理の「なすそうめん」、「なすの漬物」、「打木赤皮甘栗かぼちゃの炊き込みご飯」の3品で、夏の定番デザートである「金沢すいか」と一緒に食べていただこうということになりました。当日は、朝からJA金沢市女性部と女性農業委員が50人分の昼食を作りました。食材はJA金沢市の各部会からのご厚意により提供していただきました。

避難された方からは、「炊き出しでなすそうめんを食べられるとは思わなかったわ!」、「能登のすいかじゃないけど甘くておいしい!」など、うれしい言葉を沢山いただきました。

避難生活で大変な思いをされている方に、季節のものを美味しく食べて少しでも元気になってもらい、大好きな能登に早く帰れるよう願うばかりです。

(取材 広報編集委員 山川、田辺、鮎岡)



避難された方に昼食を提供



JA女性部と一緒に昼食作り

### 金沢農業大学校研修生（第20期生）の募集について

金沢農業大学校は、農業の担い手を育成するため、平成18年3月に金沢市が開設した研修機関です。野菜づくりを学び、農業経営をはじめたい方のための研修です。

実習を中心に、2年間の研修で野菜の栽培技術等を学びます。

- ・対象 令和7年2月1日時点で18歳以上65歳以下 研修修了後、金沢市内で就農できる方
  - ・募集人員 15名程度
  - ・研修期間 2年間（令和7年2月～令和9年1月）
  - ・申込方法 金沢市農業センターへ申込書を提出（郵送・電子メール可）
  - ・申込期間 令和6年8月6日（火）～11月15日（金）※必着
- 詳しくは金沢市農業センターまでお気軽にお問い合わせください  
〒920-0371 金沢市下安原町東1471 TEL(076)249-2744、FAX(076)249-4470  
E-mail : noudai@city.kanazawa.ishikawa.jp



農業かなざわに関する情報は

農業かなざわ

検索

編集発行 金沢市農業委員会 電話 076-220-2223

